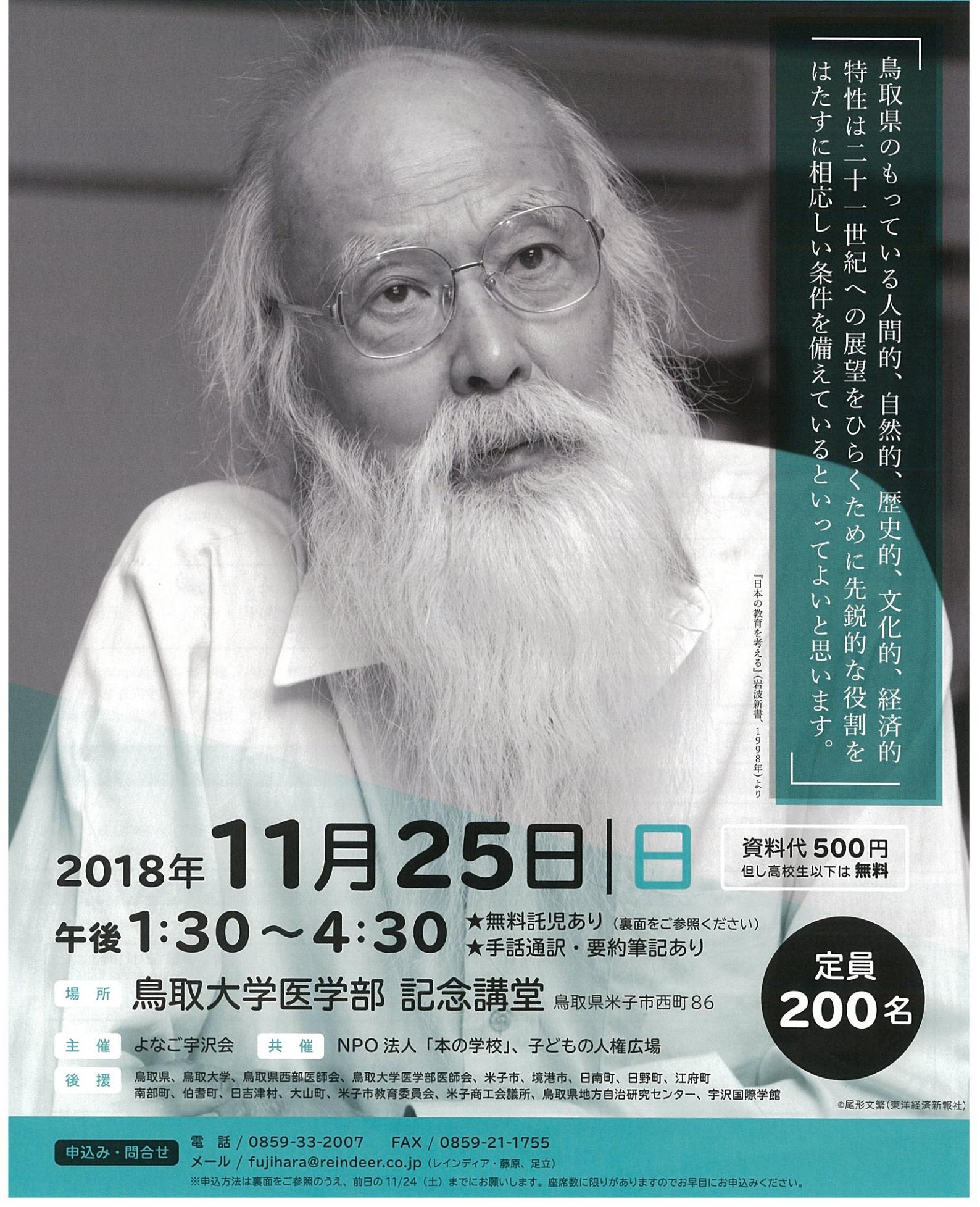


米子出身の世界的経済学者に学ぶ、新しい社会のしくみ

宇沢弘文記念フォーラム 2018



鳥取県のもつている人間的、自然的、歴史的、文化的、経済的特性は二十一世紀への展望をひらくために先鋭的な役割をはたすに相応しい条件を備えているといつてよいと思います。

『日本の教育を考える』(岩波新書、1998年)より

2018年 **11月25日** | 日

午後 1:30 ~ 4:30 ★無料託児あり (裏面をご参照ください)
★手話通訳・要約筆記あり

場所 鳥取大学医学部 記念講堂 鳥取県米子市西町86

主催 よなご宇沢会 共催 NPO 法人「本の学校」、子どもの人権広場

後援 鳥取県、鳥取大学、鳥取県西部医師会、鳥取大学医学部医師会、米子市、境港市、日南町、日野町、江府町、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、米子市教育委員会、米子商工会議所、鳥取県地方自治研究センター、宇沢国際学館

定員
200名

©尾形文繁(東洋経済新報社)

申込み・問合せ

電話 / 0859-33-2007 FAX / 0859-21-1755

メール / fujihara@reindeer.co.jp (レインディア・藤原、足立)

※申込方法は裏面をご参照のうえ、前日の 11/24 (土) までにお願いします。座席数に限りがありますのでお早目にお申込みください。

「経済学の原点は人間。

人間で一番大事なのは、実は心なんだね。」

米子市出身の世界的経済学者宇沢弘文先生は、生涯をかけて「人びとを幸せにする経済学」を追求されました。私たちの暮らしに欠かせない大気・水・森林などの自然環境や、教育・医療・金融などの制度、道路・上下水道・電力などの社会インフラについては、利潤追求の対象として市場に委ねるのではなく、「社会的共通資本」として大切に、適正に管理していくべきと唱えられました。

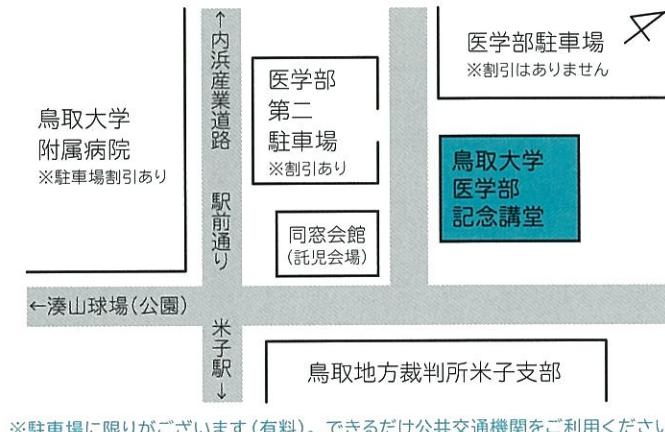
この考え方は、さまざまな分野で活躍する人々に支持され、影響を与え、その生き後も多くの実践者を育んでいます。

ふるさと鳥取県においても、県や市町村、医師会など各界からの求めに応えて度々帰省され、ご講演・助言をいただきました。著書『日本の教育を考える』(岩波新書、1998年)では「環境問題に焦点を当てて、教育、医療を中心とする社会的共通資本を整備して、安定的な人間関係と定常的な経済を保ちながら、絶えず新しい文化が形成される魅力にあふれた社会をつくり出すこと」を鳥取県に期待されています。

そこで、第4回目となる今年の記念フォーラムでは「宇沢弘文と鳥取県」をテーマに、宇沢先生が鳥取県に何を期待されたのか、その理念・思想に学んで、私たちが、どうまちづくり、人づくりに取り組んでいいけるのか…「これまで」、「今」、そして「これから」について、考えてみたいと思います。

うざわ ひろみ：1928年、米子市生まれ。1951年東京大学理学部数学科卒業。ケネス・アローの招きでスタンフォード大学の研究員、後に助教授。シカゴ大学教授、東京大学経済学部教授、同学部長、その後新潟大学教授、中央大学教授、同志社大学社会の共通資本研究センター長などを歴任。1997年、文化勲章受章。米子市「市民栄光賞」を受賞。2014年9月18日、死去。主な著書に『自動車の社会的費用』『近代経済学の再検討』『近代経済学の転換』『成田』とは何か』『二十世紀を超えて』『地球温暖化を考える』『日本の教育を考える』『ゆたかな国をつくる』『社会的共通資本』『経済学は人びとを幸福にできるか』『経済と人間の旅』など。

米子駅から…徒歩約15分／タクシー約3分／市内循環「だんだんバス」約8分
米子空港から…タクシー約20分／空港連絡バスで米子駅に移動後、徒歩・バス



宇沢弘文記念フォーラム 2018

主なプログラム

講演

I

「鳥取県に期待されたもの」

鳥取県文化振興財団理事長 三田 清人氏

三田さんは元県庁職員、鳥取県のシンクタンク（とつとり政策総合研究センター：TORC）に研究員として出向中、鳥取市で開催したフォーラムの講師に宇沢先生を招請。宇沢先生の鳥取県への思いや期待されていたことについて、当時を振り返りながら、貴重なお話をいただきます。



みた きよと：公益財団法人 鳥取県文化振興財団 理事長。1956年生まれ。鳥取市出身。大阪大学経済学部卒業。鳥取県文化観光局長、鳥取県立博物館長、鳥取県会計管理者などを経て2018年6月より現職。

講演

II

「父のことから終末医療を考える」

日本メメント・モリ協会 占部 まり氏

占部さんは、宇沢先生のご長女で内科医。「よなご宇沢会」結成以来、常に連携をいただいている。そして今、晩年の宇沢先生の闘病の日々を思い起こしながら、医療者として終末医療をどう考えるか、「日本メメント・モリ協会」を立ち上げて、精力的に活動を抜けられています。誰もがぶつかる人生の節目、終末医療の課題や問題点について分かりやすくお話をいただきます。



うらべ まり：東京慈恵会医科大学卒業。米国メイヨークリニックのポストドクторアルフェロー（1992～1994年）などを経て、現在は地域医療の充実を目指し内科医として勤務。2014年宇沢弘文死去に伴い、宇沢国際学館取締役に就任。

「宇沢弘文とふるさと鳥取」

鼎談 野川 聰氏（鳥取県副知事）・占部 まり氏・三田 清人氏
進行：阿部 博章共同代表

鼎談は、「宇沢弘文とふるさと鳥取」と題し、意見交換を行います。特に今回は、野川聰鳥取県副知事にも加わっていただき、それぞれに宇沢先生の理念にどう学び、それぞれの場においてどう生かすか、などについてお話をいただきます。

無料託児サービス

希望される方は 11/19（月）までに

0859-33-1019（子どもの人権広場・安田）へお申込みください。

※フォーラムへの申込みは別途下記の通りお願いします。

フォーラム申込み

電話 / 0859-33-2007 メール / fujihara@reindeer.co.jp (レインディア・藤原、足立)

参加者氏名	連絡先（電話、FAX、Eメールのいずれか）	申込み日（2018年） 月 日
住所　〒(　　-　　)		

FAXでお申し込みの方は、上記にご記入し送信してください。

FAX 0859-21-1755

※頂いた個人情報は、当フォーラム運営以外の目的で使用することはありません。